

令和元年度 第1回 蕨市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

1 日 時 令和元年7月18日(木) 10:00~11:30

2 会 場 市役所3階 特別会議室

3 出席者(敬称略)

委員：小貝 和己 藤井 博子 川崎 文也 國井 信太郎  
樋口 裕一 松永 祐希 山口 浩 志水 正子  
山内 俊和(代理 泉山 高子) 鈴木 真司 松本 隆男  
事務局：原田 卓治(教育部次長)  
長岡 潤 (学校教育課指導主事)  
齋藤 大輔(学校教育課指導主事)

4 内 容

【開 会】 原田 卓治

【委嘱状交付】

【自己紹介】

【協 議】

(1) 蕨市いじめ防止基本方針について

事務局から改定点について説明

《質疑応答》

[委員] 「アンケート5年間保存期間について説明の補足を。」

[事務局] 「いじめの解消後も、人的関係は在籍校にいる期間継続するものであり、事案の経過等を観察し、適切な対応ができるようにするため。」

[委員] 「いじめ事案についての小学校から中学校への引継ぎ等はあるか。」

[事務局] 「小中連携の視点から、いじめ等の事案を含めた生徒指導情報を引き継いでいる。」

(2) 蕨市のいじめ等の状況について

事務局から説明

「従来は件数として挙げていなかったトラブルも、積極的にいじめと認知したために件数としては増加した。」

「いじめの重大事態につながりかねない事案についての経過報告」

### (3) 蕨市のいじめ未然防止の取組について

#### 事務局から説明

「各小中学校の担当教員からなるワーキンググループの設立、健全な自尊心を育むライフスキルの手法を用いたプログラムの開発、授業研究会の開催等を予定している。」

#### 《質疑応答》

- [委員] 「導入の経緯について説明の詳細を。」
- [事務局] 「今まで行ってきたいじめ未然防止の取組に新たに加わる取組としてとらえていただきたい。不安やストレス、対人関係から起こる問題等を解決する力を身に付けることにより、いじめを未然に防止しようとするプログラムであり、今年度から5年間での完成を計画している。現在、ワーキンググループ会議にて構成メンバーの研修を行い、授業研究会等の準備を進めている。」
- [委員] 「子供同士の人間関係づくりになると思うが、大人同士の対人関係づくりも必要だと考えるがいかがか。」
- [事務局] 「プログラムには、保護者を対象としたものやゲストティーチャーとして招致するものもあり、今後啓発していきたいと考える。」  
「また、各校教職員がこのプログラムの趣旨を正しく理解し、子供に指導する際には、十分な研修を行い自分たちが先に体験することが必要になる。結果的に教職員同士の人間関係の円滑化も期待できると考える。」
- [委員] 「いじめ事案については、保護者の認識の違いからトラブルに発展することが多いように感じる。基本方針等について、各校に発信・啓発する枠組みを整えていく必要があると思う。」

### (4) 各機関・団体からの報告について

- [委員] 相談所にいじめの直接的な訴えはない。  
相談・通告件数について報告。  
H30年度が最多件数となり、年々増加している状態である。  
その他件数の内訳等について報告。
- [委員] 警察へは、いじめ・盗撮・盗難・虐待など様々な相談が寄せられており、個別対応している。
- [委員] 先日参加した講演会で、子供が土に触れる外で遊ぶ環境が減ったことで、ストレスを抱えることが多くなり、学級崩壊やいじめの増加に

つながっているという話を聞いた。市内でも公園が減っている環境もあり、子供のストレスにつながっているのではないかと思うところもある。放課後子ども教室でも、遊びを工夫している児童もいるので、今後も温かく見守っていく。

[委員] 一母親としての立場から話す。中1の子に対して、小学生のときにいじめはあったかを聞くと、2人の子が、身体的な特徴をあだ名で言ういじめが隣のクラスであった。先生も指導した。けれども、先生が優しい（言い方なども）ので、解消しなかった。  
TVでも身体的特徴をいじるケースがある。スマホを使って、LINEのいじめが今後起きるのではないかと思うと怖い。

[委員] 高機能自閉症をもつ家庭の保護観察の事例から、お子さんが年齢を重ねるにつれて手を焼いていることが多い。学校でも様々な障害をもつ児童生徒がいる中で、トラブルからいじめ等につながることも考えられ大変だと思う。

[委員] 市P連では、個人情報保護の観点から、いじめ等のことを話題にすることは難しいが、各校の横のつながりや連携を意識していく。  
共働きでPTA活動になかなか参加できない家庭もある中でPTA活動を「子供たちのための活動」という視点で工夫改善していく。

[委員] 蕨市のPTA活動は大変充実しており、地域力を感じる。子供をよくするためにという思いをもって、学校・家庭・地域で連携して今後も取り組んでほしい。  
北町で発生した事件に伴い、警察・地域の皆様に感謝している。今後は夏季休業となるため家庭での安全指導と管理をお願いしたい。

[委員] 配偶者暴力相談支援センターの相談件数について報告  
昨年度まで相談件数が年々増加していたが、平成30年度は少し落ち着いた。今後も関係機関と情報共有・連携を進めていく。

#### 【その他】

事務局より事務連絡

・第2回蕨市いじめ問題対策連絡協議会 10月開催予定

【閉 会】 原田卓治